

サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコからの寄付受け入れの経緯

＜寄付の背景＞

サウジアラビアと日本政府の間で合意された沖縄における石油備蓄事業に伴い、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社において、沖縄のさんご礁保全に携わるNPOへ寄付をする計画が策定され、検索の結果、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会への寄付について事務局へ打診があった（平成22年11月5日）。

＜本協議会理事会の対応＞

・協議会理事および事務局で議論した結果、寄付の背景、協議会に求めることなどの詳細をヒアリング等した上で、受け入れの可否について判断を行うこととした（平成22年11月6日以降）。

・協議会理事および運営委員が東京において、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社の担当者に面会し、寄付に至る経緯とともに寄付金の使途についての説明を受けた（平成22年11月12日）。

- ①サウジアラムコは本年はじめ日本政府（経済産業省）と合意し、うるま市にある沖縄CTS（原油貯蔵ターミナル）のタンクの一部を借り上げ、日本への石油安定供給に万全を期すことになった。
- ②タンクへの貯油は早ければ22年中、遅くとも23年早々に開始される予定
- ③新たな施設建設や、周辺環境の開発等を行わない。
- ④11月末には本国から送金されるので、なるべく早く内容を決めたい
- ⑤寄付金の使途には「サンゴの保全活動」という縛りがあるが、細かい内容については応相談。期間は単年度でもよいし、複数年度でもかまわない。受ける側の義務としては、年度末の会計報告です。

・上記会談の報告を受けて理事の間で検討した結果、協議会には、いろいろな立場の方が参加しているが、推進協議会としての具体的な展開を図るためには当然資金も必要であり、こういった機会を前向きにとらえることも大事などとする前向きな意見が出され、寄付を受け入れることとし、相手方に連絡した（平成22年11月17日）

・第7回理事会において、協議会として新たな基金等を立ち上げるなど、今後の寄付の活用について運営委員会を中心に検討していくこととした（平成23年5月13日）。

＜今後の予定＞

・もうしばらくは、協議会口座に寄付金が振り込まれる予定（平成23年6月8日）

